

クラウド型地域医療連携ネットワークシステムの提供について

受託計算、コンピュータシステムと関連機器の開発、販売等の株式会社北海道電子計算センター（本社：札幌市、代表取締役社長：中村 信義、以下HDC）と医療情報システム開発の株式会社ファーストブレス（本社：札幌市、代表取締役社長：小野寺薫、以下FB）は、IDCを活用したクラウド型の地域医療連携ネットワークシステム「ファーストパス/エリアコネクト（以下FPAC）」を、12月22日より販売開始致します。

FBは平成16年秋から、地域医療連携室や医療相談室を中心とした業務改善から、病院情報システムとの情報連携による院内活用、そしてWebを活用した地域全体の連携支援まで、医療連携における様々な問題解決にご利用いただける「ファーストパス/コミュニティリンク（以下FPC L）」を全国で販売し、全国約50ヶ所の地域中核医療機関でご採用いただいております。特にWebを活用した地域全体の連携支援では、現在までに全国の7ヶ所の地域中核医療機関内に公開型の環境を構築し、その医療機関を中心とした地域ネットワークの様々な連携事例の構築を支援してまいりました。

今般、地域医療再生基金の活用検討事例に代表されるように、地域医療連携ネットワークを支援する機能の一つとしてITは不可欠の存在になりつつあります。このような環境の中で、HDCとFBは新たに共同でクラウド型の地域医療連携ネットワークシステムを開発致しました。またHDCはIDCの運営とサービス提供を、FBは従来の院内業務を支援するシステムの提供を担当し、共同で今後FPACの展開を進めてまいります。既にFPACはKKR札幌医療センター斗南病院様にて導入が決定しており、その他3ヶ所の地域での採用が内定しております。

【システムの特長】

1. 情報公開型医療機関の地域医療連携室業務支援機能を保持
2. ID関連付け作業の簡素化
3. 個別Webサーバによる個別情報提供対応が可能
4. 地域閉域ネットワーク網を活用したセキュリティ対策
5. 地域別統計の提供

【クラウド型地域医療連携ネットワークシステム～公開型医療機関最小構成】

1. 「firstpass/AreaConnect 初期費用一式」・・・(1,000万円から)
2. 「firstpass/AreaConnect 月額利用料」・・・(5万円)

※情報公開範囲により電子カルテシステムや画像システムとの連携構築費用が別途必要です。

※参照型医療機関の月額利用料は無料です。

※地域内の公開型基幹病院は別途機器構成と費用が異なります。

【提供開始】

平成23年2月1日

【販売見込】

3年間で20地域へ展開

●お客様お問い合わせ先

株式会社ファーストブレス) 経営管理本部

電話：011-758-8833 e-mail：info@firstbreath.co.jp

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。